



こんにちはは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第609号
2023年9月25日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

「声をかけて」いただければサポートします

長年市民が求めていた勝田台駅南口のエレベーター・エスカレーター併設の改修工事が来年6月まで行われています。

駅利用者の方から、「工事期間中、足の不自由な人が階段を使っただけの遠回りの昇り降りは大変」との声が寄せられました。そこで市に京成電鉄との協議依頼をしたところ、9月議会で、「困ったら駅員さんに声をかけていただければ、入場券なしで内容に応じて対応します」という前向きな回答がありました。

地下の改札口から入って南口の地上に出られるエレベーターを利用することもできます。また、地上階の南口の改札口そばのエレベーターから地下道に降りることもできます。無理をしないで駅員さんにお願ひしましょう。

地域公共交通計画は今年度中に策定

誰もが自由に移動できる公共交通は、豊かな社会形成に必要なことです。9月議会で、東金市の路線バスとコミュニティバス・デマンドタクシーが全域で運用されている例。柏市の買い物目的の乗り合いタクシーが往復500円で実施していることなどを例に挙げて、計画を急ぐことを求めました。また、公共施設（市役所や市民会館）利用の交通手段や買い物・通院等公共交通の充実を求めました。

日本共産党は毎議会、「地域公共交通計画」を策定し、「地域公共交通会議」に提案することを求めてきました。その結果、「本年10月、12月に予定している地域公共交通会議における意見を踏まえて、地域公共交通計画の素案を作成した後、パブコメを実施し、今年度末までに計画を策定する予定です」との回答がありました。

利用者負担のないバリアフリー化の整備を

駅のエレベーター・エスカレーター化はバリアフリーの一環ですが、鉄道駅のホームドアやバリアフリートイレや内方線付き点状ブロックの整備も必要です。

京成電鉄(株)は、「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用した整備に取り組むために整備・徴収計画を国土交通省に届け出を行いました。「1乗車当たり10円を基本として鉄道駅バリアフリー料金を旅客運賃に加算する」仕組みです。2024年春からの開始予定です。

これまで、エレベーター・エスカレーターの設置にあたっては、国・地方自治体・事業者がそれぞれ3分の1を負担して整備されてきています。

従前通り、国や地方自治体からの支援と事業者が負担すべきもので、利用者に負担をかけずに整備すべきではないでしょうか。

日本共産党は、安心して公共交通機関を利用できるように引き続き奮闘する決意です。

参考リンク

京成電鉄ニュースリリース2023.09.15
鉄道駅バリアフリー料金制度の活用によりバリアフリー設備を整備します

